

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)		第 6 回 (仮称) 新・都市農業振興ビジョン検討委員会				
事務局 (担当課)		農政課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 3 3 (直通)				
開催日時		平成 2 7 年 1 月 2 1 日 (水) 午後 2 時 ~ 4 時				
開催場所		相模原市立産業会館 4 階国際商談室				
出席者	委員	1 0 人 (別紙のとおり)				
	その他	-				
	事務局	9 人 (経済部長 他 8 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	2 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		1 開会 2 議題 ( 1 )(仮称)新・都市農業振興ビジョンの策定に関する事項についての答申(案)について ( 2 )(仮称)新・都市農業振興ビジョンの策定に関する事項についての答申の時期及び今後の予定について 3 その他 4 閉会				

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。

### 1 開会

大木委員長の進行により開会し、傍聴者2名の入室が承認された。

### 2 議題（ は委員の発言、 は事務局の発言）

#### (1)(仮称)新・都市農業振興ビジョンの策定に関する事項についての答申(案)について

事務局から(仮称)新・都市農業振興ビジョンの策定に関する事項についての答申(案)について説明を行った。その後、大木委員長の進行により、議事に入った。

全体を通して、年については和暦と西暦を併記してはどうか。そうすれば、仮に本ビジョンの計画期間中に年号の変更が生じても問題ないと考える。

和暦と西暦の併記する方向で対応したい。

「1 ビジョンの策定にあたって」について、ビジョン策定の趣旨には、全国的に見ても急激に都市化が進んでいる相模原の現状を記載してはどうか。また、ビジョンの位置づけの中にある図について、都市計画との関連性がないようだが、農業振興地域整備計画と都市計画のゾーニングが重要なポイントなので、必要だと考える。

農業振興地域整備計画と都市計画を並べて描くように図を修正したい。

「5 重点プロジェクト」の中間目標・最終目標についてはどのように設定したのか。

実績とデータの変動を確認した上で、これまでの趨勢プラスアルファの数値とした。

担い手支援について、初めて農業に取り組む人にはまず知識が必要である。市農協には、援農システムや営農ヘルパーというものがあり、それをビジョンに入れて

はどうか。

市と市農協で農業研修講座というボランティア向けの講座を設けており、合わせて事例として記載したい。

農家民泊について、特に藤野地区には、宿泊場所が極めて少ないので確保できるような取組をしてほしい。

「地産地消・農業との交流プロジェクト」に記載されている、「グリーン・ツーリズム等の取組の促進」の部分に取組として加えたい。

農業が市民にとって遠い存在になっては新たな担い手が育たない。子どもの頃から農業に親しみを持てるよう学校教育のカリキュラムに入れてほしい。

学校農園など学校の授業と連携した取組を施策例として入れたい。

市民の農に対する意識を高めることが重要である。農業まつりなどのイベントでは、効果が一過性のものになってしまう。

対応について検討する。

法人参入について、戦略的に進めていただきたい。

認定農業者の平均年齢が高いとなっているが、実態としては、認定農業者の後継者もいる状況がある。新たな担い手の掘り起こしや、定着に向けた取組が多いように感じるが、農業後継者への支援の取組も考えていただきたい。また、農家に対する市の農業施策のPRが不足していると思われるので、PR自体を重点プロジェクトとしてはどうか。

市としても、さらにPRに力を入れていきたい。

園芸農家向け施策がほとんどなので、酪農や畜産を絶やさない施策が必要である。

新規就農で、酪農や畜産に取り組むことは難しいと考えているが、現在も畜産振興対策事業は実施している。

農業で生活できる所得の確保が重要である。また6次産業化に取り組みたくても費用の面で踏み出せない農業者がいるため、加工施設の整備に対する助成体制が必要である。

「都市農業活性化プロジェクト」の取組事例(案)に記載している。

新たな担い手が就農して終わりではなく、担い手同士が協力して次の展開を考えていけるような体制作りが必要である。

農業者と市民との対話の場所が必要である。

「地産地消・農業との交流プロジェクト」の中に広報事業を加えたい。

## (2)(仮称)新・都市農業振興ビジョンの策定に関する事項についての答申の時期及び今後の予定について

事務局から答申の日時、出席者、今後の予定等について説明を行った。

また、事務局から答申(案)の副題についてのたたき台を提示し、説明を行った。答申までの間に意見や提案があれば連絡をいただくこととし、副題の修正については委員長に一任された。

### 3 その他

本検討委員会が最後の開催のため、新津経済部長よりあいさつを行った。

### 4 閉会

大木委員長より検討委員会の全体を総括してあいさつを行った。

## 第6回(仮称)新・都市農業振興ビジョン検討委員会委員名簿 (50音順・敬称略)

	所属団体等	氏名	備考	出欠席
1	相模原市認定農業者連絡会 副会長	天野 國彦		出席
2	公募委員	池田 珠三子		欠席
3	麻布大学獣医学部 教授	大木 茂	委員長	出席
4	相模原市農業協同組合 理事	小俣 シゲ子	副委員長	出席
5	公募委員	上島 都子		出席
6	一般財団法人農村開発企画委員会 特任研究員	楠本 侑司		出席
7	株式会社藤野倶楽部 代表取締役	桑原 敏勝		出席
8	津久井郡農業協同組合 専務理事	坂間 陸二		出席
9	パルシステム生活協同組合連合会 産直開発課長	高橋 英明		出席
10	相模原市農業委員会 副会長	高橋 三行		出席
11	相模原市農業協同組合 常務理事	長谷川 辰夫		出席